

NITS カフェ報告書	実施機関名・連携機関名 実施機関：京都市教育委員会 連携機関：京都教育大学大学院連合教職実践研究科 京都市立下京中学校
※ 機構記入欄 No. : -	セミナー名：【NITS カフェ in KYOTO】 主タイトル：A L の具体的実践を学ぶ 副タイトル：ファシリテーションを活かした実践
テーマ： 本セミナーでは、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善の研究交流を進めている4校（下京中・明倫中・新香山中・辰口中）が、互いの実践を交流し自校の研究に落とし込むことによって、効果的な資質・能力の育成につなげる実践の一助とし、また、他の先進校の実践を学びことにより、一層効果的な具体的実践を旨としテーマを設定した。	
内容： <参加者 教員44名、教育委員会4名、大学関係者等6名 計54名> 本懇談会は2部構成で実施した。第1部は京都市立下京中学校、福井市明倫中学校、岡崎市立新香山中学校・能美市立辰口中学校との実践発表を行った。第2部は、新潟市立白新中学校のファシリテーション（FT）を取り入れた事例をもとに効果的な対話活動の研修を行った。 第1部 ○京都市立下京中学校の発表内容 ・学校教育目標と育成を目指す力のつながり 学校教育目標を、育成を目指す資質・能力に落とし込み、新学習指導要領の学びの3要素とのつながりを明確にしていることが報告された。 ・今年度の研究についての報告（以下の4つの点についての研究実践について報告された） 1 本質的な問いを創る単元デザイン 2 導入「つかむ」展開「交わる」まとめ「振り返る」の授業デザインの構築 3 アウトプットを意識した「交わる」の授業展開の工夫 4 視点を与えた「振り返り」のアウトプットの徹底、 ・M D T（ミニディスカッションタイム）の導入 新香山中の実践に学び、M D Tの実践を始めたことについて報告された。 ○福井市明倫中学校 「深い学び」の実現を目指して、「新たな価値を基に、問い続ける態度を育成する授業づくり」について報告された。 ・課題把握・協働的な解決・振り返りの場面において、目ざす「問い続ける」生徒の姿を明確にした。 ・今年度研究の柱についての報告 1 三つの観点（①課題の工夫②協働的な解決の工夫③まとめや振り返りの工夫）を意識した授業づくり 2 問い続けさせるための発問や資料提示の工夫 3 一人一授業実践 4 実践レポート 5 教科内での授業参観と共通実践 ・教師のファシリテートの向上についての取組 校内研究授業後に、効果的な切り返しや、教師が介入するタイミングの吟味、意見のつなぎ方等に研修した ○岡崎市立新香山中学校 「関わり」「つながり」「広がり」を重視したE S Dの展開を主題とした、総合的な学習を中心とする研究に報告された。 ・目ざす生徒像に迫る3つの手立て 1 総合的な学習の時間に関連づけた各教科のカリキュラムを工夫する。 2 自己の学びの価値を実感させるために、M D Tや授業において振り返りの場を取り入れる。 3 情報を収集、整理、発信する場面での思考ツール、I C Tの活用の仕方を工夫する。	

○能美市立辰口中学校

昨年度の実践を踏まえた全国学力学習状況調査の結果分析と、授業改善に向けた4回の校内研修の取組について報告された

・授業デザインに改善に向けて

- 1 「つかむ」(導入)でのポイント 教師の表情・総合的な学習との関連・活動の見通し
- 2 「ふかめる」(展開)でのポイント 期待される生徒の姿を中心据える(ピクトグラムで可視化)
友達に教え合うことで、思考を整理させる
活用・発揮の場面を意図的につくる
- 3 「まとめる」(まとめ)でのポイント 3つの視点を与え、注目するポイントを明らかにする
振り返りの3つの効果 ①知識の構造化 ②意欲喚起 ③自己変容の自覚

第2部

新潟市立白新中学校の「ファシリテーション(F T)を取り入れた授業実践」から学ぶ

- ・F Tの良さ ①役割がある「全員参加」②自発的なアウトプット③思考の可視化による思考の共有と学びの自覚④思考力・判断力・表現力の育成⑤人間関係づくり(支持的風土)
- ・F Tを使う場面 ①集団による問題解決②アイデアの創造③合意形成
- ・F Tの定義 「話し合いを促進する『考え方』や『技術』」
- ・F Tの技術 ①対人スキル[質問スキル・傾聴スキル・復唱スキル]
②論理スキル[話し合いを可視化・話しをかみ合わせる]
- ・「かみ合わせるとは」 ①問題意識を醸成する②F Tの目的と目標を明確にする③目標に迫る論点(問い)の設定④学習形態の工夫(ジグソー学習・ワールドカフェ形式等)

F Tの成果について共感する意見が多く、自校で実践にするにあたっての質問等が飛び交い、活発な討議が行われた。

成果：

本懇談会のアンケートより

- ・多様な実践を通して多くのことを学びました。特に全校で取り組むことや継続しながら進化させていくことの重要性を強く感じました。また、先生方が一体となることで、その力は必ず大きな成果となって子供に届くことも確信しました。
- ・新潟の白新中学校のF Tについても継続して学校全体で行うことの成果がよく分かりました。形ややり方にこだわって、生徒の実態を後付けにしてしまわないように気をつけながら、今日の学びを活用し、実践してみたいと思います。

アイデアや工夫したこと：

- ・アクティブ・ラーニングの視点を共通にして4校の取組内容の発表を行った。各校が重視している研究について詳しい説明が行われ、主体的・対話的で深い学びを実践するに当たってのポイントが整理できる内容であった。
- ・F Tという手法について、映像等を交えながら分かりやすく説明が行われ、意見を出しやすい雰囲気作りを行った。
- ・田村学教授の助言が適宜入り、参加者の疑問等がクリアになるよう時間設定に留意した。

<写真・図など>

発表後には活発な質問・意見交換が行われた

各発表について田村学教授から助言をいただいた

